



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉男 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 78 名 出席 51 名 出席率 80.95 % 前回出席率 74.60 % 修正出席 57 名 確定出席率 90.48 %

＜創立記念講話＞

クラブ 創 立 当 時 を 偲 ぶ

石 黒 慶 之 助 君



鶴岡ロータリークラブは丁度28年前の本日（昭和34年6月9日）創立発会式を挙行し、同月27日に国際ロータリーにより承認されました。スポンサーは山形R.Cと山形西R.Cであり、特別代表は当時70歳の安齋徹

先生であり、ガバナーは伊部政次郎氏（函館）でありましたが、任期末なので発会式にはご出席なかったと思います。

当時わがクラブは、R.Iの地区は第350地区（東北・北海道）であり、ガバナーの公式訪問は大変な遠距離で、どんなにか苦勞多かつたことでしょう。それにしても安齋特別代表は毎週山形から鶴岡へ来られ、小花盛雄会長、安藤定助幹事への指導から会員への情報活動などに情熱溢れる厳正なご指導を頂いたようであります。

それより以前、私はその年の4月頃、鶴岡ホテルに小花さんより呼び出され、クラブ設立準備会に参加するよう求められ、出席しました。そこで安齋特別代表のロータリーの解説、特に定款、細則について詳細に説明され、凡庸な私が何んのために名士の中に入って、余りにも厳重な制約を受けねばならないのだろう、私は開業医として娑婆気の多い多忙さであり、しかも県歯科医師会の理事や市歯科医師会

の副会長などで精一杯仕事があるのに、毎週1回の例会には欠席を許されない。崇高な奉仕の理想の実践などは私の能力を越えるものと判断され、自分の内面を見つめるような余裕がなかったので入会を断念しました。今になって考えて見ると、潜越ながら特別代表は定款、細則などの堅苦しい解説よりも、ロータリーの美しい点、ロータリアンの特典とか、友情、寛容、信頼などの素晴らしき等をユーモアを加えお話し頂いた方が、入会し易かつたのではなかったでしょうか。今後、会員増強や外部拡大の委員各位のご参考に供します。

今まで、わがR.C創立以来地区の名称も5回変わっております。即ち、

- 昭和34年 (1959) 小花初代会長の時はD 350であり、東北6県と北海道が一緒でありました。
- 昭和35年 (1960) 小花会長の時に、北海道と東北が分かれ、D 352と改称。
- 昭和40年 (1966) 張会長の時、東北が2つに分かれ、秋田、山形、福島の3県でD 353となる。
- 昭和48年 (1974) 安藤会長の時、即ち早坂ガバナー就任に際し、東北を3地区に編成し、現在の如く福島、山形2県でD 353を作った。

庄内空港の建設を推進しましょう

昭和52年 上野会長の時、地区はD 253 と改め
(1978) られた。

鶴岡R.Cは2年後に創立30周年を迎えることにな
ります。

皆様のお手元
にD 253 地区の
古いクラブ順に
R.Iよりの認承
順位表のコピー
を閲覧しておら
れると思います
が、地区内では
14番目、日本で
は305番目に出
来た古いクラブ
であります。

過去において
は、出席率も財
団への寄付率も
米山への功績も
抜群であった。
財団学生も米山
奨学生も第1号
を出しており、
交換学生の受け
入れ派遣も他ク
ラブに先がけて
実施。或は海外
R.Cとの姉妹ク

ラブ締結、海外国際大会への会員の参加など、過去
に栄光の多いクラブでありました。

昭和34年7月1日より小花会長第1年度が始まり、
第350地区ガバナー真崎健夫先生(北大教授、私の
学位論文審査会の副査となられた恩師)が札幌より
来鶴され公式訪問を受けています。その時、ロータ
リアンでない私が宿舎を訪ね面会しましたら、“君
もR.Cへ入り賜え”と言われた。私が止むなくR.C
へ引き入れられたのは更にもう3年かかります。

第1年度チャーターメンバー21名と会員増強28名

ありまして大発展しましたが、現在チャーターメン
バーは阿部公一、津田晋介の2氏。更に第1年目入
会した28名の中には飯白祐吉、鈴木善作、張紹淵、

佐藤昇、小池繁
治、三井徹の6
氏がおられます。
更に、第2年度
には嶺岸光吉氏
(1987年6月5
日午後4時7分
死亡)。第3年
度には三井賢二
氏がおられます。
私は第4年度佐
藤伊和治会長の
時に入会しまし
たので、以上9
名の方々が私の
クラブの先輩で
あります。先輩
諸公には今まで
ご指導或は激励
・ご支援を頂き
ました。今日の
記念日に当り、
心から感謝し御
礼申し上げます。

地区ガバナー
に推し、更に、

1982年には非才、愚直な私をガバナーに推され、皆
様が一致して私を盛り上げて下さいました。わがR
Cは過去に素晴らしい奉仕活動を行い、活気に充ちて
いました。夢のように栄光と感激を今尚忘れられず
にあります。

記念日に当り、要望したいこと、2つお願いした
い。即ち、

1つは、旧いクラブはやる気を出せば何んでも出
来るのに仲々腰が上がらず、“このままで丁度よい
んだ” “そんなことして何になる” という消極的な

〈別表〉

鶴岡R.C誕生当時の現 253 地区のクラブ誕生を見ますと、次
表の通りであります。

国内認承 番 号	地 区 内 順 位	ク ラ ブ 名	認 承 年 月 日
23	1	郡 山	昭和 11. 6. 8 1936
42	2	山 形	25. 8. 5 1950
52	3	福 島	26. 3. 23 1951
78	4	会 津 若 松	27. 8. 24 1952
104	5	い わ き 平	28. 6. 26 1953
188	6	喜 多 方	31. 8. 10 1956
228	7	上 山	32. 6. 28 1957
248	8	山 形 西	33. 2. 27 1958
251	9	天 童	33. 4. 29 "
257	10	飯 坂	33. 6. 5 "
267	11	白 河	33. 8. 21 "
268	12	米 沢	33. 9. 5 "
292	13	村 山	34. 4. 20 1959
305	14	鶴 岡	34. 6. 27 1959
324	15	寒 河 江	34. 11. 6 "
329	16	酒 田	34. 12. 14 "
332	17	新 庄	34. 12. 26 "

発言を耳にする。他クラブからは敷居が高くてメーカーし難いクラブだの批判を受けるようになります。こんなようになると仲々活性化を取り戻すのに大変です。しかしロータリーの役員は一年毎に変わりますので、その対策は割合に容易であります。年功序列型だけでなく、2～3年に1回位は45～55才位の若い会長が出てほしいと思います。過去において小花盛雄、張紹淵、石黒慶之助、三井徹、小池繁治氏などがその位で会長になっています。新会員増強に

も30才代～50才代の方々を増強し、昭和2桁の会員が早く会長になってほしいものです。

2つ目は、次の栄光は2年後の創立30周年記念を如何に意義深く行うかについて、今からご準備あるべきと考えております。そろそろ準備委員会の設立を考えられ、30周年のクラブの歴史をなるべく多く後世に残したいものと思っておりますので、記念誌にも力を入れてほしいと思います。

会 長 報 告

山口篤之助 君

1. 皆様既にご存じの事と思いますが、会員の嶺岸光吉さんが、手厚い医療のお手当の甲斐もなく、去る6月5日午後4時7分、入院先にて急性肺炎の為、ご逝去なられました。59才の若さで、本当に残念で、クラブの大きな財産を失った思いでございます。心からお悔みを申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。尚、お葬式は来る11日午前11時、昭和町金浄寺で行われます。ご都合のつく方出来るだけ多くの方のご参列ご焼香下さる様お願いいたします。クラブからはご香典と生花をお供えいたしました。

嶺岸さんは昭和35年12月6日入会されました。

以来26年間皆出席で表彰を受けられました。1980-1981年には第22代会長を務められ、クラブ発展の為に尽力されました。1982-1983年石黒ガバナー年度には地区副幹事としてご活躍されました。また1982年5月にはポール・ハリス・フェローになられ、クラブの為、社会の為に奉仕されましたご功績は偉大なものでありました。嶺岸さんの在りし日を偲びご冥福をお祈りし、黙祷を捧げたいと思います。

2. 本日はクラブ創立28周年の記念日でございます。お祝いに紅白の餅を準備致しました。また、本日は記念のスピーチを石黒P.G.にお願いしました処入院中でお体の不調にも拘らずお出でいただきました。感謝申し上げます。どうか無理をなさらず一日も早く全快されます事をお願いします。

3. 次週16日(火)は第6回クラブ協議会を新田合同で行います。義務出席の方はお忘れなくお願いします。場所は昭和町「新蒔」、時間は午後4時。

幹 事 報 告

松田士郎 君

1. 会報到着のお知らせ
東京R.C(回覧中)
2. 東北電力情報No.35到着(回覧中)
3. 新会員の推薦に関する氏名発表
荘司俊治氏(荘内日報社常務取締役)

青少年海外短期交換生 受入れの件

吉野 勲 君

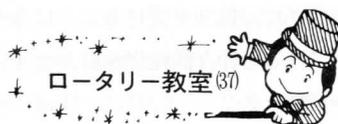
去る5月27日、次年度の高橋分区代理がお見えになり、色々お話を伺いましたので報告致します。

台湾347地区(高雄)から18才～24才のインターアクトの学生が見えます。またその際にローターアクト委員長、直前ローターアクト委員長が付添いとして参る他、青山学院の学生が通訳として1名みえます。人員は10名で、内訳は女子9名、男子1名です。

7月10日午後1時頃到着予定で、昼食後、鶴岡工専1時間、致道博物館見学を1時間、また夕食を中国飯店で2時間位を予定しています。尚、決定ではありませんが、宿泊は「いこいの村」へ全員泊るか、あるいは分宿か、決定次第ご連絡致します。

翌日、7月11日、9時に産業会館前へ集合、羽黒山の登山(10:00～11:00)し、のちに酒田清水屋

へ行き昼食、そこで酒田地区の皆さんへ引渡す。と
いった予定で進めたいと思いますので、ご報告致し
ます。



親睦活動委員会

松山俊三君

第2回親睦ゴルフコンペが来る6月17日行われま
す。現在12名の申し込みですが、本日の例会終了時
をもって締め切らせて頂きます。

スマイル

- 吉野 勲君 創立記念として、当社製品をお買
上げ頂き。
- 張 紹淵君 7代目の会長務めた時、嶺岸君が
幹事を担当し、良く助けてくれま
した。59才で逝った嶺岸君のご冥
福をお祈りして。
- 鈴木弥一郎君 6月4日に鈴木善作君の米寿をお
祝いで。
- 鈴木善作君 88才になり米寿を迎えることが出
来たこと。今後共よろしく。
- 黒谷正夫君 事務所の若先生である佐藤が、山
銀ゴルフコンペで優勝して。
- 皆川光吉君 前回、娘がゲストスピーカーとし
てお招き頂いたことと、会報に写
真が美しく載っていたことにより。
- 松田士郎君 6月第1例会に休んだこともあり
P.Gの会員誕生を間違えたため。
- 毛呂健士君 6月4日、ムシ菌の日にY T Sテ
レビに出演して。

ビジター

- 余目R.C 佐藤孝二郎君
- 鶴岡西R.C 長野正彦君・中村 紘君
井上 彬君・三井盾夫君

(第1410回例会会報より続く)

ロータリークラブ2

ロータリーで「職業分類の原則」として知られて
いるこの規定は、いろいろことになった関心をもつ者
が集まって、奉仕のため親睦を深めていくのに役立
っています。(たとえば、弁護士がエンジニアと、
銀行家が印刷業者と、そして酒造家が自動車ディー
ラーと交流をもつものです。)また、この規定は、
クラブの会員構成がいずれか一方にかたよることを
ふせぎ、同業者が同席している場合とくらべて雰
囲気を開放的なものにするのに役立っています。

ロータリークラブは、個人的な友情と奉仕のきず
なにもつばれた人々たちによる真のクラブとなること
を目指しています。このため、毎週のクラブ例会に
きちんと出席することが、クラブ会員としてたいせ
つなつとめとなっています。また、ロータリアンは
会員であることの特典を、営利目的に利用しないよ
う求められています。この点についてクラブの名譽
は、クラブ会員全体によっておこたりに守られて
います。

各ロータリークラブは、国際ロータリーの認証状
をうけた世界組織のメンバーです。(認証状はR.I
会長、同事務総長および地区ガバナーが署名し、ク
ラブがR.Iに加盟したときに中央事務局から発行さ
れます。)したがって、各クラブはその地域社会の
みではなく、全世界のロータリーとむすびについて
いるのです。ですから地元の社会にのみ目をむけて
いるクラブは、真のロータリークラブとしての責任を
部分的にしか果たしていないこととなります。

(次回へ続く)